



ローレル



県立日立第一高等学校
附属中学校
学校だよりNo. 139
令和5年12月11日
生徒数240名

教育目標：豊かな人間性と高い知性を有し、日本そして世界の未来を拓く次代のリーダーを育成する。

12月 「金子みすゞの詩に思う」

校長 磯邊 裕一

12月に入り、今年も残りわずかです。12月8日は何の日か、聡明な皆さんなら家族で話題にするなどして知っていますね。年末になっても中東で、また東欧で戦火が絶えません。宗教や国家間の対立はあるでしょうが、健康で安全な生活を送ることは、人類共通の願いです。

ちょうど今から100年くらい前に金子みすゞという童謡詩人がいました（1903年4月11日～1930年3月10日）。短い間に500編を超す詩を書き、当時の大家（たいか）である西條八十（さいじょうやそ）に絶賛されましたが、若くして亡くなりました。しばらく野に埋もれていましたが、児童文学者の矢崎節夫（やざきせつお）が作品を精力的に発掘し、1980年代に『金子みすゞ全集』が刊行されました。その後メディアなどにもしばしば取り上げられ、現在では小学校の国語の教科書にも載っているの、知っている人も多いと思います。

彼女の詩には、身近なものに対する温かい眼差しと、多角的なものの見方が感じられます。例えば、『私と小鳥と鈴と』では、「みんなちがって、みんないい」と多様性と個の存在を肯定しています。『大漁』では、人間にとっての大漁は、海の中の鯛（いわし）にとっては大量死に当たるという視点の大転換を描いています。さらに、『星とたんぽぽ』では、「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ」と、むしろ見えないものの存在に気付かせてくれます。なお、みすゞが書いた18年後、フランスの作家サン＝テグジュペリは、『星の王子さま』で「かんじんなことは、目に見えないんだよ」と語っています。

金子みすゞの詩に表現される感性があれば、見えないものの存在にも気付くこともできるし、相手の立場を思いやることもできるのではないのでしょうか。世界中の人々が相手の立場を理解し、見えないことにも想像を働かせることにより、紛争や争いがなくなっていくことを願っています。

◇ 12月の主な予定 ◇

- 7日（木）委員会活動
- 8日（水）科学の甲子園ジュニア全国大会
（本校生3名参加）
- 11日（月）保護者面談（～15日（金））
- 19日（火）生徒会選挙
- 21日（木）中学表彰伝達式
- 22日（金）表彰伝達式・大掃除
冬期休業前集会
- 23日（土）冬期休業期間（～1月4日）

◇ 1月の主な予定 ◇

- 5日（金）休業明け集会・適性検査準備
（お弁当・午前中授業）
- 6日（土）附属中適性検査
- 8日（月）成人の日
- 9日（火）生徒自宅学習（～10日）
- 11日（木）委員会活動
- 13日（土）英検1次
- 15日（月）第4回外部模試（～16日）
- 17日（水）生徒自宅学習
- 24日（水）認知症サポーター講座（1年）
- 25日（木）第4回定期考査（中3）
- 31日（月）SSH成果発表会

◆ ヒカリモ・地層見学会 ◆

11月8日（水）に、1学年で毎年実施している「ヒカリモ・地層見学会」を実施しました。ヒカリモ見学は、東滑川海浜緑地公園にバスで向かいました。前日の雨の影響で洞穴に雨水がたまったおかげで、ヒカリモが例年になくきれいに輝いていました。生徒は水面が金色に光っている様子を見て、興味深い表情で高校の生物担当の話聞いていました。一方、地層見学会はかみね公園に行き、日本最古の地層を見学しました。石碑の土台に使われている岩石が、実は日本で一番古いものであるという地学担当の話聞き、近くに寄って詳しく見てみたり、手で触ってみたりと関心をもって見学をしていました。身近な場所に科学への関心を高められる教材があるのが本校の強みです。これからも継続していきます。



◆ 力走！マラソン大会 ◆

11月14日（火）に笠松運動公園にて、マラソン大会を実施しました。

青空のもと、生徒は体育の時間で練習をしてきた成果を発揮しようと、一生懸命に走っていました。

今年は、県北駅伝で男女ともに上位入賞を果たし、県大会に出場したこともあり、ハイレベルなレースが展開されました。最後まで走り切った生徒の顔は達成感にあふれていました。

最後に表彰式を行い、男女3位までの選手がメダルを授与されました。



【男子の部】

1位 長田 晏空 2位 大曾根 悠 3位 金井 唯翔

【女子の部】

1位 土屋 唯里 2位 落合 七美 3位 門脇 優華

◆ リモートでつながる意見交流会 ◆

11月28日（火）に3学年で、福井県勝山北部中学校の1年生とリモート意見交流会を行いました。勝山北部中は、昨年度福井県との人事交流事業で本校に赴任していた栗田先生が現在赴任している学校です。その1学年生徒が福井県の魅力についてまとめたものを本校3学年生徒に発表しました。発表を聞いて生徒は感想や質問を画面越しにするとともに、アンケートフォームに入力していきました。

3年生の生徒はお世話になった先生に会えてとても喜んでいました。また、北部中の生徒にとっては、リアルタイムで感想が画面上に出てくるので、とてもよかったという感想を聞くことができました。お互いにとってとても有意義だったリモート交流会でした。

